



子宮

歯周病の炎症成分が子宮を収縮させるスイッチになり、低体重児出産・早産の危険性は7.5倍になります。

低体重児出産・早産

糖尿病

糖尿病・生活習慣病

糖尿病は歯周病を悪化させます。歯周病が重度になると糖尿病もさらに悪化します。歯周病の方は、内科の受診をおすすめします。



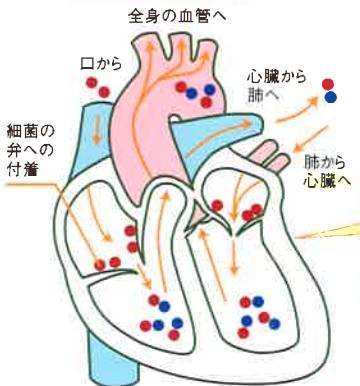
心臓病

骨粗鬆症

心臓・脳・血管

歯周病は血栓を作りやすく、心内膜炎や脳卒中・脳梗塞を起こす危険性は2~3倍になります。

●歯周病菌 ●血栓



歯周病は歯を失う最大の原因です。

35歳で80%以上の方が歯周病になっています。むし歯と違ってほとんど痛みがなく進行するため、気がついた時には手遅れになることがある怖い病気です。



家に例えると……

家が壊れるのがむし歯、土台がなくなるのが歯周病です。



☑あなたは大丈夫？

- 口が臭いと人に言われたことがある。または、口臭があると自覚している。
- 朝、起きたとき口の中がネバネバする。
- 歯を磨いたとき歯肉から出血する。
- 冷たい水を飲むと歯や歯肉がしみる。
- 歯がグラついて食べ物がよく噛めない。
- 歯肉がやせて以前より歯が長くなったように見える。
- 歯肉が赤色や赤褐色に充血して腫れている。
- 歯肉を指で押すと出血したり膿が出る。



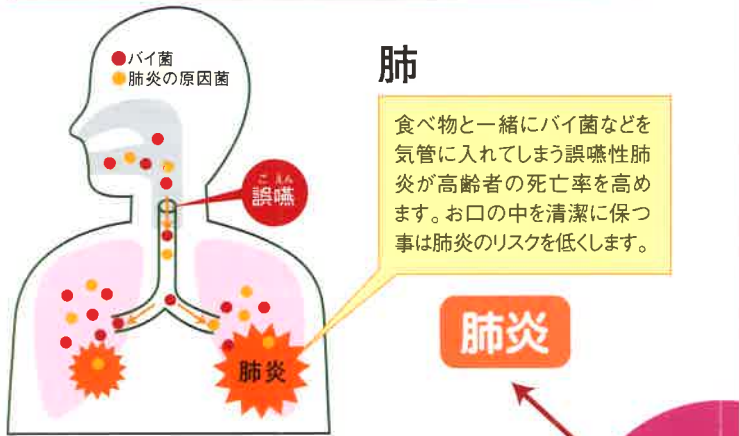
※1つでも当てはまるものがあると要注意です。早めに歯科医院でみてもらいましょう。

歯医者さんへ ようこそ

～むし歯と歯周病のお話～



歯周病との深い関係



肺

食べ物と一緒にバイ菌などを気管に入れてしまう誤嚥性肺炎が高齢者の死亡率を高めます。お口の中を清潔に保つ事は肺炎のリスクを低くします。

肺炎

タバコと歯周病

喫煙は歯周病の進行を2~9倍に悪化させる危険因子であり、歯周治療を受けても良い効果が得られにくくなります。



歯周

高血圧

喫煙

動脈硬化

高脂血症

- リスクを高める
- - - - -> リスクを高める可能性がある

一度身に付いた習慣を変える事は難しいのですが、生活習慣を改善する事が最善の治療方法なのです。



妊娠中の歯科治療



妊娠中の治療が必要な場合、最適な時期は安定期である4~7か月頃です。歯科医には妊娠していること、出産予定日等を告げてください。レントゲン撮影、麻酔、お薬に関して心配なことがあればご相談ください。

生まれたばかりの赤ちゃんに母親の唾液を介しての母子感染を起こすリスクがあります。日頃から健診を受け、妊娠したら出産までにしっかり治しておきましょう。

乳幼児の歯科治療

生後6か月頃から生え始める乳歯は、永久歯と違いむし歯や歯周病の進行が早いので、保護者の方が必ず仕上げ磨きをしてあげましょう。「予防」することが最も重要で、おやつは時間をきめること、歯磨き習慣を確実につけてあげることが大切です。

むし歯になりやすい箇所



寝かせ磨き

子どもをひざの上に寝かせ、口の中をのぞきこむような姿勢をとり、あごを手でおさえながら磨きます。

上の前歯

くちびるを傷つけないように、人さし指でガードしながら磨きます。

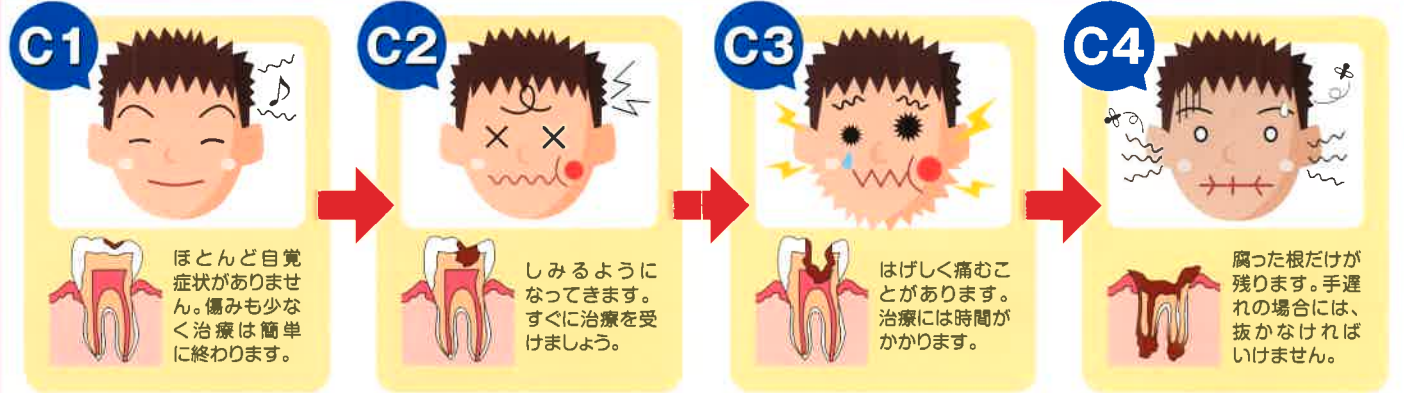
奥歯

人さし指でほおをふくませながら磨きます。



むし歯はどう進むの？

初期のむし歯の発見は難しいため定期健診を受けましょう。



正しい生活習慣と日頃のケアが大切です

◆毎日のブラッシング

正しいブラッシング方法を身につけて、お口の中を清潔にしましょう。

◆早めの受診と定期健診

定期的に健診を受け、お口の健康をチェックしましょう。

